

第1学年 生活科学習指導案

指導者 泉田理恵

1 単元名 あきとなかよし 「すてきだね おうぎだのあき」

2 単元について

(1) 学習指導要領から

本単元は、生活科の内容(5)(6)と関わりがあるものである。

(5) 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心を持ち、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。

(6) 身近な自然を利用したり、身近にあるものを使ったりなどして、遊びや遊びに使うものを工夫して作り、その面白さや自然の不思議さに気付き、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。

ここでは、身近な自然に目を向け、諸感覚を使って繰り返し自然と触れ合い、四季の変化を体全体で感じ取り、季節によって生活の様子が変わることに関心を持ち、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにすることを目指している。また、身近にある自然を利用したり、身近にあるものを使ったりなどして、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなで遊びを楽しむことができるようにすることを目指している。

(2) 単元の目標

身近な自然とかわる活動を通して、自然の変化や自然物を使った活動の面白さに気付き、自分の生活を楽しくしようとすることができる。

(3) 単元の評価規準

- 身近な自然に関心を持ち、自然や生き物と諸感覚を使ってかわる活動を行うなどして、楽しく生活しようとしている。
(生活への関心・意欲・態度)
- 花や木の実などの自然物や身近な材料を使って、工夫して飾りや遊びの使うものを作ったり遊んだりしている。
(活動や体験についての思考・判断)
- 身近な自然の様子が変化したことに関心を持ち、秋の自然を使って遊んだ自分や一緒に遊んだ友達よさに気付いたりしている。
(身近な環境や自分についての気付き)

3 部会研究課題とのかわり

研究課題(1) 学校や地域の特徴を生かした単元開発

○ おゆみ野の自然豊かな環境を生かした体験活動の工夫

本校は周りを公園や森に囲まれ、自然豊かな学校である。敷地内には、ウメ、クヌギ、マテバシイなどたくさんの樹木や、タンポポ、オナモミなどの草花が見られ、どれも児童が身近に接することができる。また、本校の周りは大小合わせて30ほどの公園に囲まれており、それぞれを結ぶ「四季の道」と呼ばれる遊歩道では、その名の通り四季折々の自然が楽しめる。学校のそばにある公園には、シロツメクサなどの草花が広がる原っぱや、雑木林の中の散歩道があり、小さな子どもからお年寄りまで多くの人々が利用し、地域の方々の憩いの場となっている。

このような恵まれた環境の中で、児童が日常的に季節の移り変わりを感じ、より自然への意識を向けながら生活できるよう単元を設定する。そのために、年間を通して校内や近くの公園での探検活動を行う。そこでは、諸感覚を使って自然を感じられるような遊びや、自然物を用いた遊びなど、児童が自然を体全体で感じられるような体験活動を設定していきたい。そうすることで、児童は身近にあるおゆみ野の豊かな自然を身近に感じ、さらに親しむことができるだろうと考える。

研究課題(2) 子どものこだわりやよさを見つけ、やる気を引き出す支援のあり方

○思いが共有されるような、学習環境や場の工夫

児童が思いっきり諸感覚や思考を働かせて秋探しをすることで、「すてきな秋を見つけたいな」「どんぐりや落ち葉でこんなことができるかな」など、個々に秋へのこだわりが生まれてくるだろう。見つけた秋や、製作したものは廊下に展示し、伝え合ったり、触れたりできるようにする。発見を伝え合っていくことで新たな気付きが生まれ、一人一人の思いがさらに広がっていくだろうと考える。

また、教室だけでなく校内や地域にある児童の活動にふさわしい場を活用し、児童の思いや願いを生かした場作りをしていくことで、より主体的に活動できるよう促していく。実際の製作活動の際には、お互いに協力し合ったり、気付きを共有したりといった友達とのかかわり合いが生まれるように、作るものが同じ友達同士のグループを設定する。さらに、作る場と遊ぶ場を分け、試行錯誤しながら作ったり、作ったおもちゃを思い切り試したりできるようにしていく。このような場で、友達と教え合ったり、認め合ったりする中で児童の思考が充実し、気付きの質を高めることができると思う。

○充実した活動を促すカードの活用

それぞれの活動の時間では、「思いを表す」「思いを次につなげる」などを目的とした、カードによる表現活動を行う。児童がより思いを表出しやすくなるよう表題をつけた「みつけたよカード」や、これまでの活動を振り返り次時へつなげるための「振り返りカード」を、活動に応じて活用する。児童はカードを使って振り返ることで、自らの気付きをより確かなものにし、次への見通しをもったりすることができるだろう。これらのようなカードから、その活動における児童の思いや願い、気付き、困り感などの具体的な内面を見取り、支援の手立てを考えるとともに、一人一人の意欲を引き出し、生き生きと活動に取り組めるよう活用していく。

研究課題(3) 子どもに培いたい学びの力、またそのための手立てを明らかにした授業づくり

○子どもの思いや願いの実現に向けた単元構成の工夫

豊かな自然に恵まれた本校であるが、児童の自然に対する関心には個人差がみられる。児童がより主体的に自然とのかかわり、意欲的に活動に取り組むためには、体全体で秋を感じ、楽しむことが大切であると考え。このような実態から、本単元は、「あきとあそぼう」「あきでつくってあそぼう」「あきをみんなでたのしもう」という3つの小単元で構成した。

小単元1の導入部分では、諸感覚を使って秋の自然の不思議さや面白さを見つけたり、秋を感じられる遊びを十分に楽しんだりできるようにする。そのために、校庭や秋の公園での秋探しの時間を十分に確保したい。そして、児童が感じる「秋のすてき」を、一緒に活動しながら引き出していく。また、機会をとらえて秋探しの活動を全体で振り返ることで、一人一人の活動のよさや発見を共有できるようにしていきたい。そうすることで、児童は様々な秋の自然物の特徴を知るとともに、お気に入りの遊びを繰り返しやってみたいという思いや、新たな遊びへの意欲をもち、日々の生活を楽しむことができるだろう。

小単元2では、自然物を使っておもちゃや飾りを作ったり、それを使って遊んだりする活動を設定する。一人一人の思いや願いを生かして工夫しながら作ったり、友達と遊んだりして楽しむことは、その子なりの「秋のすてき」にさらに親しむことにつながり、作ったおもちゃや飾りは自分の宝物となるだろう。また、製作活動や遊ぶ時間を繰り返し設け、活動の充実を図ることで、意欲をもち続けながら活動できるようにする。

このようにして活動が深まるにつれ、児童の中に、秋の遊びに関してのお気に入りや、とっておきが生まれてくるだろう。そこで小単元3では、学校行事の「学習発表会」と関連させて、自分のお気に入りの遊びを、他学年の友達や家

の人、地域の人に紹介するためのお店を開き、一緒に遊ぶ活動を行う。お客さんに楽しんでもらうためにはどんなところに気を付けて作ればよいのか、どのように伝えればよいのかなどと相手意識をもって考えながら、友達と協力し合っ
て活動することで、自分や友達の気づきを共有することができるだろう。また、発表会に向けて準備を進めながらこれ
までの活動を振り返ることで、児童はできるようになった自分や友達のよさに気づき、満足感、成就感を味わうことが
できるだろう。

○自然の不思議さや面白さに対する気づきを深める活動の工夫

児童は、公園探検に出かけたり、登下校時や放課後に学区を歩いたりする中で、秋に関するたくさんの発見をするだろ
う。そうした発見やつぶやきをカードに書きためていき、見つけてきた自然物とともに種類別に分類して掲示する。秋に
ついての情報を共有したり、見つけたことについて共感したりできるようにすることで、児童の新たな気づきを促すこと
ができると考える。また、分類された木の実や落ち葉の色や形を何かに例えたり、比べたりすることで、児童は自然物の
特徴に気付くことができるだろう。さらに、春や夏と関連づけて、季節を通して「比べる」ことで、季節の変化の不思議
さも感じられるようにしていきたい。

○友達と教え合い、認め合う中での気づきの質の高まり

公園や教室における製作活動の導入時は、グループや場を固定せず、児童それぞれがもつ遊びへの思いや、普段の
人間関係、生活班等のゆるやかなかわりにまかせて、製作活動を行うようにする。違った視点から秋を楽しんでいる
友達の様子から、製作しているもののよさに気付くことで、児童が今後の活動の視野を広げることができるだろうと考
える。

製作活動の深まりとともに、作るものが同じ友達と、同じ場所で製作できるようにしていく。児童が互いに製作して
いる様子を見合えるようにすることで、友達の作り方の工夫を自分の製作の参考にしたり、協力し合っ
て製作したりで
きるようになるだろう。児童は友達とかわり合いな
がら活動する中で、友達の作り方の工夫や、自分の作り方との違
いに気づき、考えを広げながら製作することができる
と考える。また、友達とのかかわりを広げたり、深めたりしてい
く中で、かわり合っ
て学ぶことの楽しさに気付くことができるだろう。友達と比較したり、試したりしてさらに工夫
し、全体で秋の遊びを楽しめるようにする。

4 児童の実態から

(1) この単元を通して育てたい子どもの姿と子どもの思い・願い

この単元を通して育てたい子どもの姿

- 身近な自然に目を向け、自然を利用した遊びや、友達と遊ぶことに関心を持ち、主体的にかかわろうとする子ども
- 木の実や木の葉などの自然物や身近な材料を使って、工夫しながら作品を作ったり遊んだりして、楽しく活動する子ども
- 身近な自然の様子が変化したことや、秋の自然物を使って遊べた自分や一緒に遊んだ友達のよさに気付く子ども

子どもの思い・願い

はっぱの色が変わって
きたよ。きれいだ
な。みんなにも教えて
あげよう。



びびかかのだんぐり
を見つけたよ！おも
ちやつくって友達
と遊びたいな。



おうちの人
にも伝えた
いな。



みんなに秋を
楽しんでもら
いたいな。

(2) 教師の願いと配慮事項

	生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	気付き
教師の願い	① 身近な自然の変化に目を向け、自然物を使って友達と活動する楽しさを味わい、それらと主体的にかかわってほしい。	② 木の実や木の葉などの自然物や身近な材料を使って、工夫しながら作品を作ったり遊んだりしてほしい。そこで生まれた思いや気付きを、自分なりの方法で表現してほしい。	③ 自然の不思議さや面白さ、秋の自然物を使った遊びの面白さに気付いてほしい。活動したことに満足感や自信をもち、自分と一緒に遊んだ友達よさに気付いてほしい。
配慮事項	① 発見やつぶやきは日常的にカードに書きためていき、掲示して情報を共有できるようにすることで、自然の変化や、自然物に関心がもてるようにする。また、自然物や遊びに関する図書資料を用意したり、見本を展示したりすることで、児童が自由に調べたり、参考にしたりできるようにし、秋を身近に感じられるようにする。	② 児童が存分に活動できるような時間と場所を確保する。児童がめあてをもって活動できるよう、問いや見通しを書き表せるカードを活用する。児童が秋に対するそれぞれの視点をもって活動ができるよう、実物や材料、参考になる資料などを十分に用意し、教室内外の環境整備をする。	③ 秋の自然を体全体で感じ、繰り返し活動できるようにすることで、秋の自然の素晴らしさやよさを、実感として捉えられるようにする。活動の中で気付いたことを交流できるような場やカードを工夫することで、自分や友達よさに気付けるようにする。

(3) 配慮事項に関する実態

○配慮事項①に関連して

- ・子どもたちの自然や自然物に対する関心

これまでに行ってきた学校探検や公園探検、栽培などの活動を通して、子どもたちは様々な自然物と触れ合ってきた。梅の実をみて、「どうやったら梅干しになるのかな。」と考えたり、とうもろこしの皮を剥いて、「おひげがこんなにたくさんあるよ。」と不思議がったりしていた。育てているアサガオについては特に愛着をもっており、「つるがこんなに伸びたよ。」「今日は花が2個も咲いてたよ。」などと、発見したことを友達同士で伝え合い、進んでかかわる姿が見られた。秋が近づくと、小さなバッタがたくさんいるのを見つけ、何匹も捕まえてきては、虫かごに住処を作ってあげる姿も見られた。また、アサガオが実をつけ始めると、「来年の1年生にあげたいな」などと嬉しそうに話し、休み時間にも熱心に種を集めていた。

○ 配慮事項②に関連して

- ・自然物を使った遊びの経験

春に行った探検活動では、シロツメクサを用いて冠を作ったり、草ずもうをしたりして遊ぶ姿が見られた。探検後にも、校庭でお気に入りの花を見つけると、「花束にして家の人にプレゼントするの」と話しながら草花の採集を楽しんでいた。夏に行った色水遊びの学習では、いろいろな草花で色水を作ったり、混ぜて色を変えたりする楽しさを味わった。どんぐりが落ち始めると、「笛を作りたいな」と、休み時間に友達を誘って笛作りを楽しむ児童も見られた。これらの遊びは幼稚園や保育園で経験したという児童も多く、遊びの経験には個人差がある。経験の少ない児童は、自分のしたい活動の見通しを立てられずに、友達の活動を見ている時間が多くなりがちなの姿も見られる。

秋の木の実や木の葉を使った遊びの経験は以下のとおりである。

<省略>

○配慮事項③)に関連して

- ・自然の変化や不思議さ、面白さへの気付き

春には花が満開だった桜の木が、夏には葉を繁らせているのを見つけたり、校庭で遊んで汗をかき、「暑くなってきたよ」と夏が来たことに気付いたりなど、身近な自然に目を向け、変化の様子を知らせる姿が見られた。泥だんごづくりでは、「こっちの砂おいしい泥だんごを作るよ。」と砂の感触やその違いを楽しんだ。色水遊びでは、花と色水の色が同じになったり、混ぜると色が変わったりする面白さを味わい、自然物を使った遊びの面白さや、楽しさに気付いている児童もいた。近頃では、キンモクセイの匂いを嗅いで「秋のいいにおいがするよ」と嬉しそうに話していたり、春に植えたサツマイモを一生懸命に掘って収穫し、出てきたイモの大きさや重さに驚きと楽しさを味わったりなど、秋へと変わる季節を楽しむ姿が見られる。

- ・自分や友達によさへの気付き

入学して数ヶ月が経ち、学校生活にも慣れ、余裕がもてるようになってきた。自分や友達の良いところを見つけ、それを認め合う姿が見られるようになり、友達の良いところは、自分の生活にも生かしていこうと意欲をもっている児童も増えてきた。シロツメクサの冠の作り方や、バッタの飼い方を教え合うなど、友達と一緒に活動することを楽しむ姿が多く見られる。一方で、自分のやることに自信がなく活動に消極的になってしまったり、周囲に配慮せず自己中心的に活動してしまったりと、自分や友達を信じてやってみようという意欲をなかなかもてない児童もいる。

5 学習の流れ (22時間扱い)

主な活動と内容

小单元1 あきとあそぼう (6時間)

小单元の評価規準

- ◎ 校庭や公園などの秋に関心をもち、木の葉や木の実を探したり、そこでの遊びを楽しんだりしている。(関心・意欲・態度)
- ◎ 校庭や公園などの秋を探したり、見つけたものを使って遊んだりしたことを、絵や文にして表している。(思考・表現)
- ◎ 校庭や公園などの秋の様子や季節の変化、自然物で遊ぶ楽しさに気付いている。(気付き)

- 校庭で秋探しをする。(2)
(常時活動でも継続して行う。)
- 学校の周りで秋探しをする。(2)
 - ・ 大百池公園 (大百池周辺・城ノ台広場)
 - ・ 通学路や家の周り (常時活動)
- 公園探検をし、自然物を使ってその場でできる遊びやものづくりをする。

(2)



【留意点】

- ・ 子どもたちがそれぞれの視点をもって秋探しができるよう時間を十分に確保する。
- ・ 校庭や公園探検に出かけた際には、フィールドビンゴを行い、身近な自然と、体全体を使って、楽しくかかわれるようにする。また、自然物を使った遊びなどを紹介し、視野を広げられるようにする。
- ・ 集めたものや作ったものを持ち帰れるように、袋や入れ物を用意して出かけるようにする。また、見つけた自然物を用いてその場で簡単に製作ができるよう道具も用意しておく。
- ・ 遊んでいる場所で情報交換をしたり、帰ってきた後にカードを書いて見せ合ったりし、活動が広がるようにする。

小単元2 あきでつくってあそぼう (8時間)

小単元の評価規準

- ◎ 自然物を使って飾りや遊ぶものを進んで作ろうとしている。(関心・意欲・態度)
- ◎ 自然物の特徴を生かして、飾りや遊ぶものを工夫して作っている。(思考・表現)
- ◎ 季節の変化を生活に取り入れる楽しさや、自分や友達のよさに気付いている。(気付き)

- 集めた葉っぱや木の実、草花などを使って、遊んだり、簡単に作ってみたりしながら、どんなものが作れそうか考える。(1)
- 集めた葉っぱや木の実、草花などを使って、自分の作りたいものを作ったり、遊んだりする。(6) <本時5/6>
- みんなで作ったおもちゃで遊んだり、ファッションショーをひらいたりする。(1)



【留意点】

- ・ 存分に活動できるよう、場所や時間、材料や道具は十分に整えておく。
- ・ きり等は場所を固定し、安全に使えるようにする。
- ・ 同じものを作ろうとしている友達同士でグループを作ることで、友達の作り方の工夫を参考にしたり、友達と協力し合って製作したりできるようにする。
- ・ 工夫しながら遊んでいる子を称賛したり、友達の作り方や見本、資料を見て参考に促したり、必要に応じて一緒に作ったりなどして、意欲が持続するように支援する。

小単元3 あきをみんなでのしもう (8時間)

小単元の評価規準

- ◎ 秋の自然物を使って作ったもので、みんなで遊びを楽しもうとしている。(関心・意欲・態度)
- ◎ 自然物を使った活動を楽しんでもらえるように遊びや遊び方を工夫している。(思考・表現)
- ◎ 友達と協力して活動し、自分や友達のよいところに気付いている。(気付き)

- 秋のお店屋さんを開くこと知り、どんなお店にしたいか考える。(1)
- お店の準備をする。(4)
 - ・ 材料、道具や看板等の準備
 - ・ 1年生全体でリハーサルを行う。
- 学習発表会でお店を開く。(2)
- これまでのカードをもとに学習の振り返りをする。(1)



【留意点】

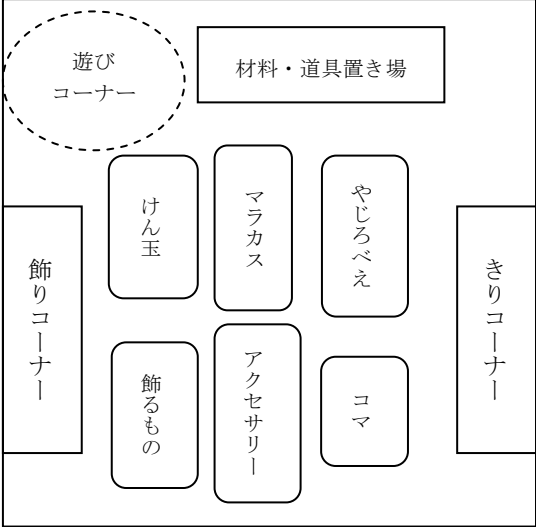
- ・ グループでの活動内容を明確にし、それぞれが役割を持って互いに協力して活動できるようにする。
- ・ お客さんにどのようなことを話すとよいか、考えられるよう助言する。
- ・ 自分の頑張りや友達のよい面を見つけられた子どもを賞賛し、互いによいところを見つけ、取り入れられるようにする。
- ・ 国語科や図工科との関連を図りながら計画を立てることで、充実した活動となるようにする。
- ・ 自分が楽しんできた秋について、カードや作品を整理しながら振り返る時間を設け、満足感や成就感をもたせるようにする。

6 本時の指導 (12/22)

(1) 本時の目標


木の実や木の葉の特徴を生かして作ったり遊んだりする活動を通して、秋の自然物を使った遊びの面白さに気付き、楽しく活動することができる。

展開 (12/22)

学習活動と内容	教師の支援(○)と評価(☆)
<p>1 本時の活動やめあてを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今日やりたいこと ・ 安全な道具の使い方、コーナー ・ 活動時間 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までの学習を振り返ることができるように、カードは各活動場所に掲示しておく。 ○ 活動できる場や活動中の注意点などを伝え、安全に活動できるようにする。
<p>木のみや木のはをつかって、つくってあそぼう。</p>	
<p>2 前時の振り返りをもとに、工夫して作ったり試したりする。</p> <p>【本時の場の設定 (例)】</p>  <p>【予想される遊びとつぶやきの例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マラカス  ・ けん玉  ・ こま  	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夢中になって活動している姿や工夫していることなどを誉め、認めることで活動の意欲を高めたり、持続したりできるようにする。 ○ 遊びコーナーでは、遊びながら思いきり試すことで、できぐあいを確認したり、さらに工夫できるところを考えたりにできるようにする。また、各製作の場では友達のものや参考にしたもの、班の友達同士で助言し合ったりしながら活動できるように声をかける。 ○ それぞれの製作の場にも、製作に必要な材料や道具を簡単に用意しておき、子どもたちの活動の手が止まることのないようにする。特に針金やつまようじは、安全を考慮して作る場所のみに置き、持ち運びをすることのないようにする。 ○ きりを使う場所は固定し、帽子をかぶることで使っていることが周りにも分かるようにする。また、使う際には十分安全に留意させる。 ○ 製作している子どものつぶやきや工夫などは丁寧に見取り、必要に応じて他の子どもたちにも広めたりすることで、製作活動に深まりが出るようにする。 ○ どのようなところに気を付けて作っているのかを尋ねたり、その子なりの工夫を具体的に誉めたりして、活動している内容を言語化しやすくする。 ○ 活動に行き詰まっている子には、同じものを製作している友達の作り方や前時までに作ったもの、秋の遊びの資料を見て参考にするとよいことを助言したり、必要に応じて一緒に製作したりすることで、意欲の持続を図る。

• やじろべえ


すぐに倒れてしまうよ。なぜかな。



同じ大きさのどんぐりを選んだら、バランスがよくなったよ。

• アクセサリー

でこぼこしてて上手くくっつけられないよ。



赤い実と黒い実をつけたら、もっとすてきになったよ。

3 今日の活動を振り返る。

- カードに自分の思いや次時のめあてを書く。
- 友達と作ったものを見合う。
- 自分が作ったものや活動したことを紹介し合う。

【振り返りカード】

「はっけん」「できたよ」「たのしかったよ」

「〇〇さん、すごいね」「〇〇さん、ありがとう」

「こまった」

○ 本時のめあてにしていたものを作り終えた子には、材料をかえて作ったり、作ったもので友達と遊んだりしてもよいことを伝え、充実した活動になるようにする。

☆ 秋の木の実や木の葉などの特徴を生かして、自分の作りたい物を作っている。【思考・表現】(活動の様子・作ったもの・カード)

○ 自分が活動している中で、工夫したことや気付いたこと等を言葉で表現することで、秋の遊びのよさに気付いたり、自分の活動に達成感や成就感がもてたりできるようにする。

○ 友達の作ったもののよいところや工夫しているところ、一緒に活動してよかったところなどを紹介し合うことで、自分自身や友達のよさに気付けるようにする。

○ 次の活動でどんなことをしたいのか確認し、次時への意欲化を図る。

☆ 友達と感想を伝え合い、自分や友達の「できたこと」「工夫したこと」などそのよさに気付いている。
【気づき】(発表・交流・カード)

【振り返りカードの例 (A5 大)】

<p>／ はっけんしたよ)</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">発表スレ</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 80%; margin-bottom: 5px;"></div> <hr style="border-top: 1px dashed black; margin: 5px 0;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black; margin: 5px 0;"/> <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 80%; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: x-small; width: 80%;"> こんどは、 </div>	<p>／ できたよ)</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">発表スレ</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 80%; margin-bottom: 5px;"></div> <hr style="border-top: 1px dashed black; margin: 5px 0;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black; margin: 5px 0;"/> <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 80%; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: x-small; width: 80%;"> こんどは、 </div>	<p>／ ()さん、ありがとう)</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">発表スレ</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 80%; margin-bottom: 5px;"></div> <hr style="border-top: 1px dashed black; margin: 5px 0;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black; margin: 5px 0;"/> <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 80%; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: x-small; width: 80%;"> こんどは、 </div>	<p>／ たのしかったよ)</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">発表スレ</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 80%; margin-bottom: 5px;"></div> <hr style="border-top: 1px dashed black; margin: 5px 0;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black; margin: 5px 0;"/> <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 80%; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: x-small; width: 80%;"> こんどは、 </div>
<p>／ こまった)</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">発表スレ</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 80%; margin-bottom: 5px;"></div> <hr style="border-top: 1px dashed black; margin: 5px 0;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black; margin: 5px 0;"/> <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 80%; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: x-small; width: 80%;"> こんどは、 </div>	<p>／ ()さん、すごいね)</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">発表スレ</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 80%; margin-bottom: 5px;"></div> <hr style="border-top: 1px dashed black; margin: 5px 0;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black; margin: 5px 0;"/> <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 80%; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: x-small; width: 80%;"> こんどは、 </div>		